

日本酒一合缶を通じた新しい飲酒スタイルの醸成と地域産品の発信

☐ 住む ☒ 癒す ☒ 学ぶ
☐ 動く ☒ 楽しむ ☐ その他

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- ・ 地域産品としての日本酒とコメの発信（できれば酒米も地域産のものを使用する）
- ・ 缶という新たな飲酒スタイル醸成を行うことでのイメージアップ

②提案の概要



福島県内には約50の蔵元があるが、浜通りには3蔵元（又兵衛・太平桜・磐城寿）であり、これの蔵元と連携し、浜通り地域の日本酒を発信する。

日本酒は瓶が主流であるが、瓶は重く・量が多く・割れ・古臭いイメージがあり、若年層には手に取らない。これを現代のライフスタイルにあった缶という提供方法、サステナブルに提供する。缶は98%のリサイクル効率を持つことから環境にも優しい。米の生産からはじまる日本酒生産は地域を代表する産業であることは日本全国で証明されており、日本という国名が冠にされた日本酒と通じて、まちづくりを行う。



③事業実施に対し必要な要件

- ・ 商品開発時の広報・自治体内での販売アナウンス
- ・ 道の駅等の販売先の紹介・（蔵元様の紹介）

④想定スケジュール

令和6年度秋：商品企画・開発・販売を開始。
 令和7年3月：成果報告シンポジウム（日本酒で乾杯・提供）

⑤地元企業等とのマッチング希望

☒ あり ☐ なし

会社名：株式会社Agnavi